

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993
開館：月～金 10～17時



タイトル「おでかけ」



コメント：公園で芝すべりや虫とりで遊んでいるところを書きました。

山口ももな さん 8歳 (小学3年生)

<表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています>

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？興味があればご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明 (30字程度) ③掲載するお名前 ④学年 (年齢) ⑤保護者の方の連絡先 (氏名・メールアドレスまたは電話番号) を明記のうえ、メールまたはFAXにてお送りください。

<編集委員募集のお知らせ>

月に一度発行している「あおぞら」は、愛知県被災者支援センターのスタッフとボランティアの方がたで協力をして発行しています。あなたも編集委員になってみませんか？

<発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

8月10日号の予定			8月25日号の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	8月9日(火)	午後	封入作業	8月24日(水)	午後	愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722 (渡邊)
発送作業	8月10日(水)	午前	発送作業	8月25日(木)	午前	

東日本大震災と私

関東大震災を経験し、100歳手前の年齢で亡くなられた茶道の先生夫妻がいました。「おじいちゃん先生」は当時警察署長、東京が初めてで何も分からない「おばあちゃん先生」は一人で避難場所を探し回り、被服廠跡にも行きましたが、拒まれて逃げまどったそうです。その時に見聞きしたことを毎年9月1日前後のお稽古の日に話され、「大災害が発生したら、お茶の心をもって被災した方へ手を差し伸べていただけると嬉しいです」とお話をされていました。それが災害ボランティア活動を始めるきっかけとなりました。

2011年3月11日(金)は忘れることができない日となりました。仕事中に低血糖になり、頭がクラクラしてブドウ糖を口にして、机にふせていた時に東日本大震災の揺れがありました。地震の揺れと低血糖が重なり、とても大変な状態になりました。

当時、愛知県海部農林水産事務所建設課に勤務しており、管内はほぼ全域海拔0メートル地帯のため、津波対応の非常設備で徹夜の警戒をして、刻々と送られてくる気象情報とテレビのニュースを観ていました。想像を超える被害の状況に心が震えました。

これだけ大きな災害だと愛知県庁も被災地に職員を派遣することになると思うので、その時にはぜひ行きたいと直訴して11年4月から5月にかけて、愛知県の派遣で宮城県多賀城市の災害対策本部に入りました。自身も被災し、家族と家を失いそれでも市民のために涙を見せずに働いていた市役所の職員にも出会いました。

ある時、自衛隊が見つけた家族の遺品を取りに来た男性が憔悴しきっていたので声をかけたところ、「これで区切りがつくので自殺しようと思っている」と言われました。「あなたが自殺をすれば亡くなった家族が一番悲しみますよ」と1時間ほどお話を聞きしたところ、「もう自殺なんか考えません命が救われました。ありがとうございました」と言って帰られました。

派遣が終わったのち、認定NPO法人レスキューストックヤードのボランティアとして、何度も宮城県七ヶ浜町を訪れ、別の団体から宮城県東松島市、福島県にも行きました。福島では立ち入り禁止のバリケードの前に立った時、家は無事なのに住むことができない場所を見て、とても切なく哀しく感じました。名古屋でお会いした福島の女性たちの中には、「放射能で幼い子どもの遺伝子が傷つくのが心配で、少しでも福島から遠くへ行きたい。でも専業主婦で学歴も手に職もないので、夫から福島から離れるなら離婚すると言われて、福島に残っている」と涙ながらにお話される方もいました。

東日本大震災がきっかけで出会った東北の人、全国から駆け付けたボランティアの人、素晴らしい人たちに出会えて幸せです。心理カウンセラーの資格を取ったので、これからも末永く東北各県の方の心に寄り添っていきたいと思います。



レスキュー
ストックヤード
募金活動の写真



<ジャガイモを掘っているところ>

この春から 3 回目の参加になります。私自身農作業が好きな以上に、小学 3 年生の息子も畑が好きなようで、濱田農園に出かけるか聞くと「行く」と即答するので、気に入っているようです。

自宅の側でも家庭菜園を借りていますが、面積が小さいうえに私の管理が不十分なため、収穫量が少なく、家族にさみしい思いをさせています。ここに来れば思う存分収穫を楽しめるからか、私が見ていなくても、息子は大人に混じって作業を手伝い、休む間もなくいろいろ動いています。

この日は 20 名程が参加し、雨が降ったり止んだりの中、ニンニク・タマネギ・ジャガイモの収穫や大豆の播種など農作業を手伝い、昼にはジャガイモを試食させていただきました。前日にあらかじめ収穫したものを当日の朝ゆでて、塩かバタ



<テントを張って休憩中>

一をつけて食べるシンプルな味付けがまたおいしかったです。

昼過ぎには作業が続行できないほどに、雨が強くなったため交流会は早めに終了しましたが、お土産をたくさんいただきました。家族が多いのでいつも助かっております。私は月に 1 回だけ、いいとこどりに来ています。作物の種類や面積が多いうえに無農薬・有機栽培のため、ふだんの管理作業に手間がかかっていることが想像されますが、こういう場を提供していただけて感謝しております。本当はこういう体験を故郷の福島でできたらいいのと思います。

季節の移り変わりを感じながらの農作業は楽しいものです。今後も濱田農園農作業体験交流会の予定があるので興味のある方、良かったら参加してはいかがでしょうか。

（避難元福島県いわき市 松本尚人）



<畑に播種しているところ>



<参加者と一緒に農作業>

交流会②（囲碁クラブ交流会）

皆さんご存知でしょうか？東日本大震災が原因で愛知県に避難している私たちを対象に、囲碁クラブ交流会が開催されています。毎月1回、日本棋院中部総本部のご協力をいただき、碁盤を囲みながら楽しい交流を続けていることを！

あの震災からもうすでに5年と4ヶ月が過ぎ去りましたが、今なお愛知県をはじめとする東海地方でも大勢の皆さんが故郷に帰れずに避難生活を送っています。1日でも早く元の生活に戻ることが第1ですが、被災地の復興状況などから、なかなか思うようにいかない状態にあることもまた現実です。

こうした私たちの慣れない土地での生活に、少しでも潤いとやすらぎを、との愛知県被災者支援センターのお心づかいからこの企画が生まれ、そして多くの方々のご支援があって、これまでの開催回数もこの6月で45回を数えるまでにいたりしました。

交流会の様子は、毎回報告書が作られ参加者にメール送信されています。2年ほど前には、小学生7～8名を含め総勢18名などということもたびたびでした。しかし、故郷に帰ったり、新しい生活が始まったり、上級生になって勉強や部活で忙しくなったりと事情はさまざまですが、最近では参加者が減ってきて、多い時でも7～8名という状況になっています。

せっかく支援センターで設けてくれている機会ですから、もう少し参加者が増えてくれるといいなと思っているのは私だけでしょうか？参加してみるとわかると思いますが、あっという間に時間が過ぎてしまいます。初めての方にはていねいにお教えしますし、上級・高段者にはそ



<交流会の様子>

れぞれお相手できるように、ボランティアで毎回協力をいただいている方々がおりますので、安心してお楽しみいただけます。もちろん参加料は一切掛かりません。ぜひ一度、お気軽にのぞいてみてください。

会場が日本棋院中部総本部内ですので、ときどき、羽根直樹九段が私たちの会場にふらりと現れるなど、思いがけないことや楽しいこともあります。

井山7冠の誕生で囲碁界も随分と盛りあがっているようですし、また近年は、囲碁を教育活動の一環として取り入れる大学や高校などもあって、単なる娯楽としてだけではなく、さまざまな効用が期待される知的ゲームとしても注目されているようです。指先と頭を使うことは間違いのないですから、私のボケ防止にも役立っていると実感しています。

九州熊本・大分両県で大災害が発生して大勢の方々が被害に遭われ、私たちと同じように避難生活を余儀なくされています。一日も早く、元の生活に戻れるよう願っています。

こんな状況ではありますが、私たちとしてはとりあえず、月に1回、囲碁クラブ交流会に参加して、同じ境遇にある人と語り、頭の体操をしながら、囲碁を試みませんか？ご参加をお待ちしています。

(K.S 匿名希望)

支援団体紹介（社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館）

創立の経緯 ～伊勢湾台風という自然災害から生まれた福祉施設～

東海地区にお住まいで60歳以上の方ならば、どなたも忘れられない自然災害が、1959年9月に襲った伊勢湾台風です。阪神淡路大震災がおこるまでは戦後最大の自然災害といわれ、死者5000名余の尊い命が奪われるという大惨事でした。この災害に対する被災者支援の活動のなかにキリスト教徒の活動がありました。この活動がきっかけとなり、地元の要請に応じて支援を継続する目的で、翌年の1960年9月に、最も被害の甚大であった名古屋市南区の地に建てられたのが名古屋キ

リスト教社会館です。翌年、活動を安定的に行うために社会福祉法人の認可をとり、託児事業を発展させた保育事業と、さまざまな相談に応え、ニーズに即応する隣保事業部門でスタートしました。今は、0歳児の赤ちゃんから預かる保育所、100歳までの要介護なお年寄りのためのデイサービス事業など、発達上に特別の配慮が必要な子どもが通う発達支援センター、障がい者の地域生活支援を担う事業など、さまざまな地域福祉事業を担っています。

東日本大震災の被災者に対する支援活動

創立の経緯から、本来の業務のほかに、国内外の自然災害に対しての支援活動を心がけています。東日本大震災に対しては、すぐに職員を現地に派遣、どこでどのような活動をすべきか模索するなかで、かねてより関係の深かったRSY（レスキューストックヤード）が活動拠点としていた仙台七ヶ浜でのガレキ処理などの活動に職員や関係する保護者、ボランティアなどを交代で派遣しました。愛知県被災者支援センターが立ちあげられ、愛知県に避難、仮りの生活を余儀なくされた方々への支援活動を展開される話を聞き、私たちが交流会を実施させてもらうこととしました。そして、1年後には県外避難された方自身が主人公となって交流会などを開催する「震災・原発事故による県外避難者自主グループめぐりあいの会（代表：江本潤子）」の立ち上げに関わらせてもらい、事務局を担って、年4回ほどの交流会、サロン開催を愛知県被災者支援センターの協力のもと、お手伝いさせても



<ふるさと交流会のようす>

らっています。一方、放射能数値が高くて屋外での活動が制限されている福島の子どもたちを招待、自然のなかで思いっきり身体を動かして遊び、活動してもらい、集団生活で社会性を高めてもらう1週間のリフレッシュキャンプを2014年夏より開催しています。

震災から5年が経過し、被災者の方々の状況も刻々変化し、ニーズも変わってきているかと思います。ニーズがある限り、今後も支援活動を継続していくつもりであります。今後ともよろしく願い申し上げます。

あいちの産直&体験施設

～お買い物ガイド～

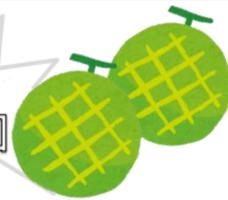
第14回



地域のおすすめ果物

渥美半島の田原市の特産品

メロン編



今月号で紹介していない産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧になれます。



果物の王様として知られるメロン。産出額が愛知県内1位（全国7位）の田原市では、これから夏にかけて旬の季節を迎えます。田原市では、高級果物として販売されているアールスメロンの他に、お手ごろに購入できる露地メロンなどさまざまなメロンが栽培されており、6～9月頃には、観光農園で「メロン狩り」体験を楽しむことができます！

今回は、田原市の「メロン狩り」体験のできる農園をまとめましたので、ぜひ体験してみてください！



PICK UP

サンテパークたはら

場所： 田原市野田町芦ヶ池 8

連絡先： 0531-25-1234

営業日時： 9：30～17：00（定休日：毎週木曜日（祝日の場合は翌日））



花と緑に囲まれた体験型テーマパークで、遊んで・食べて・体験してみませんか。しかも入場・駐車場無料！

園内の産直広場「ふれあいのMORI」では、地元で採れた新鮮な野菜や花、特産品など農畜産物の販売を行っています。もちろん、時期が合えば「メロン」もありますよ。楽しみ方はいろいろです。

<田原市のメロン狩りスポット>

No	施設の名称	住所・場所	メロン狩り期間	営業日時	連絡先
①	日研農園	田原市堀切町瀬古畑 65	4/27～9月下旬	9:00～17:00	0531-35-6854
②	ニュー渥美観光	田原市保美町段土 165	5/24～10月上旬	9:00～15:00	0531-32-0636
③	シーサイドファーム伊良湖	田原市和地町下大道 155	6/1～9/30	10:00～16:00	0531-38-0031
④	マルカ農園	田原市池尻町精進川 60	4月上旬～10月中旬	9:30～15:30	0531-45-3167
⑤	渥美観光 丸武園	田原市芦町前畑 15	7月中旬～9月末日	9:00～15:30	0531-25-0296
⑥	たべりん王国	田原市大草町茶園 12-7	7月中旬～8月中旬	9:00～15:00	0531-24-0133

※ 全ての農園が「予約制」となっています。詳細は各農園へご連絡をお願いします。

※ こちらもご覧ください。 →



<田原市のおすすめ直売所>

No	施設の名称	住所・場所	ホームページ
⑦	ふれあい広場 渥美店	田原市福江町仲田 26-1	http://www.ja-aichiminami.or.jp/store/
⑧	道の駅田原めっくんはうす	田原市東赤石 5-74	http://taharamichinoeki.com/?page_id=38

● ホームページで営業時間や定休日などをご確認のうえ、お出かけください。





お出かけ情報

～商店街～ 街歩き編



商店街は買い物などを通じ地域の交流の場として、コミュニティの核となり地域社会に貢献してきました。愛知県内には約 700 の商店街があると言われています。地域の特色ある商店街を訪れて、地域の住民との交流をしながら買い物を楽しんでみませんか。



大須商店街連盟

場所： 名古屋市中区大須 3-38-9

アクセス： 地下鉄「大須観音駅」、「上前津駅」下車すぐ

連絡先： 052-261-2287



大須商店街は名古屋で最大級の商店街で、商店街エリア内には、国際色豊かな約 1,200 もの店舗や施設がひしめき合っています。文化・芸術面においても、大須大道町人祭に代表されるような年齢性別国籍を問わないアンダーグラウンドなものからメジャーなものまで、さまざまな文化を受け入れる懐の深い街です。文化が「ごった煮」の雰囲気は、大須の大きな魅力で、毎日さまざまな年齢層、さまざまな国籍の人が訪れています。

<愛知県内の商店街>

No	商店街名	沿革	取組み
①	刈谷市刈谷駅前商店街振興組合	元々は現在の桜町通り商店街の一部でありましたが、商店街が大きくなり昭和 54 年に 2 つの組合に分かれました。	カリアンナイト…年 2 回（初夏、初冬）実施されるイベントで、5 店舗をハシゴできる「バル（飲み歩き）イベント」。1 セット 3,500 円（700 円×5 枚）のチケットを利用し、約 50 店舗の参加店から 5 店舗を自由に選んで楽しめます。
②	豊川地区商店街	江戸時代初期に豊川稲荷の門前町として発展し、栄えてきた商店街です。	いなり楽市…開催時には、門前通り周辺を車道規制して歩行者天国とし、門前町という昭和の雰囲気を活用して元気軒下戸板市・チンドン屋行列・大道芸・地元小学生のよさこい祭りなど、数々のイベントを実施しています。
③	えかくしんまち 永覚新町商店街振興組合（豊田市）	昭和 45 年頃より、トヨタ自動車の社宅として永覚団地が建設され、団地周辺にさまざまな商店が集まって生まれました。	永新ゼミ…「街のふれあいゼミナール」をキャッチフレーズに、各店舗が持っている技術やノウハウを、講座形式でお客さんに伝える試みです。年 2 回開催されており、受講費用は大半の講座で無料、高くても実費程度に設定されています。
④	花園商店街振興組合（豊橋市）	アーケードが商店街のシンボルとして長年愛されてきましたが、平成 23 年に老朽化により撤去されました。	花園マルシェ…毎月第 4 土曜日の午前 10 時から午後 4 時まで開催されているテント市です。毎回平均 10 ブース程度の出店があり、野菜や果物などの旬の食材や花きなどの特産品が数多く出店されています。

●詳しい情報は各施設のホームページ等をご確認ください。

愛知県産業労働部商業流通課のホームページからも「あいちの商店街」をご確認できます。→



ボランティアスタッフ紹介 ～ 今井田正一さん ～

支援センターのボランティアスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。
第5回は今井田正一さんです。

支援センターとの出会いは、東日本大震災が発生した2011年の6月か7月。一宮市で7月末に毎年、盛大に行われる「一宮七夕祭り」を利用して、交流会を開催しようと計画した時でした。震災のため愛知県に、そして一宮市にも少なからずの方が避難されていることを知り、何かしらの応援ができないか、どうやって避難された方に伝えることができるのかと、悩んでいるときでもありました。その当時から、今も基本となる想いは同じです。どんな理由で愛知県に来られたにせよ「愛知県に来てよかったと、思っただけのこと」です。このままずっと、または当分の間、愛知県に住まわれる方、しばらくしたら故郷に戻られる方、もしかしたら他の地に移られる方も、全ての方に「よかった」と思っただけのことを大切にしたいと思っています。孫のような子どもと遊ぶこと、遊ばれることが好きです。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。



支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★浜田農園のイベントで子どもががんばって作業したので皆さんに誉めてもらい、やりがいを感じたようです。そして帰ってから食べたトウモロコシのおいしかったこと！毎回、いい経験をさせてただいて、ありがたいです。(Y.Y)
- ★乙種危険物取扱者1、3類に合格し、乙種はすべて揃いました。(J.I)
- ★梅雨の晴れ間のあおぞら。いろいろな選択、どれも大切な未来。夏到来。(T.N)
- ★タチアオイの花が咲いている風景が大好きです。わたしもタチアオイを蒔いて、ノウゼンカズラなど夏の花を植えるお庭が欲しいです。(Y.S)
- ★今年も盆施餓鬼供養の案内が届きました。震災後あちこちに散らばっているお寺さんも檀徒の皆さんも一会場に集まって供養をせざるを得ない状況が続いています。避難指示区域解除になれば、震災前までは当たり前すぎて考えもしなかったことに悩むようになるのでしょうか。当たりの、普通の幸せは私たちの先人たちが創ってきてくれていたことに気づくべきなのでしょうね。(H.I)
- ★梅雨空のもと、夏野菜のキュウリ、ナスなどが採れました。自然の恵みを無駄にしないよう、保存・加工をいかにするか、が今からの課題です。氏素性のわかる食材で、添加物のない手作り加工食品をつくるのはなにより安心です。(K.T)
- ★プロの囲碁棋士には大きなタイトルが7つ（棋聖・名人・本因坊・王座・天元・碁聖・十段）あり、井山裕太さんがつい最近、史上初めて7冠すべてを獲得しました。日本棋院中部総本部では、羽根直樹さん（王冠位）や伊田篤史さん（前十段位）など強くて高名な棋士も多いのですよ。羽根直樹王冠はときどき私たちの囲碁クラブの部屋をのぞいてくださいます。勿論そのときは歓迎の声が湧きあがります。(H.T)
- ★いわき市ふるさと再生課の職員さんと情報交換しました。いわき市に帰還した方を交え、愛知県内で交流会を予定します。そろそろ、今思うことを共有しませんか？(E.K)

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら

〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター
TEL : 052-954-6722 FAX : 052-954-6993 Mail : aozora@aichi-shien.net

